

自律
挑戦

志保井が丘

協働
創造

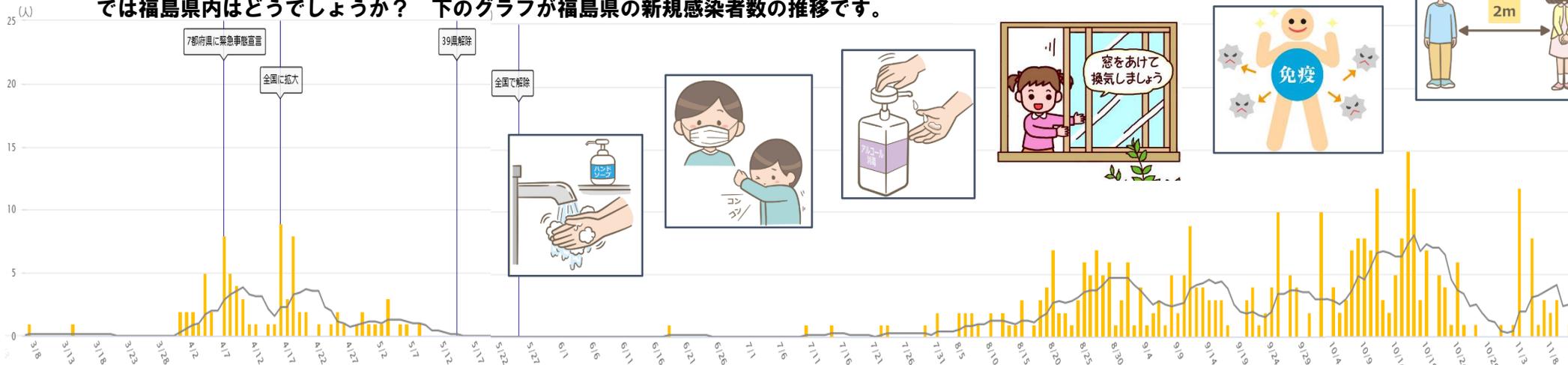
2020.11.12発行 文責 校長 目黒 満

教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

コロナ感染拡大第3波襲来？ 改めて対策の徹底を！

今朝の報道でも盛んに言われていますが、昨日11日の全国での新規感染者数が3ヶ月ぶりに1,500人越えの1,543人となり、8月7日に記録した過去最多の1,605人に迫ろうとしています。

大阪府 256人、埼玉 116人、兵庫 70人など新規感染者数が過去最多、東京では317人、北海道 197人と過去最多に迫る数となっています。では福島県内はどうでしょうか？ 下のグラフが福島県の新規感染者数の推移です。



全国的に見ると、4月中旬頃に600人超/日の第一波、7月下旬から8月上旬に1,500人超/日の第二波が来ています。県内では第一波が同時期に、第二波については、やや遅れ気味にきている感じがします。

県内では福島市や二本松市、会津若松市や郡山市等の事業所や病院、専門学校等で、同一の場所で5人以上の感染者が出る「クラスター」の発生が、感染者数増加の要因になっているので、全国的な感染拡大と同じ動きとなるとは限りませんが、感染者数が増加するということは、それだけウイルスも増えているということです。改めて感染予防対策の徹底を心がけてください。

先月、郡山市では塾に通う中学生の感染がありました。塾に行く時でも、当然マスク着用や消毒等はしていたのですが、感染者が発生し、学級や学年単位の臨時休業となりました。

塾やお店、映画館など、外部の特定・不特定多数の人と同じ空間を共有する場合、ドアノブや手すり、テーブルや椅子の肘掛など、みんなが触れる場所にはウイルスがついている可能性が増加します。その場所に入る前、そして出た後、また家に帰ったらすぐに、手指の消毒や手洗いをして、ウイルスの感染力

をなくしたり、洗い流したりすることを家族みんなで徹底してください。

今日の朝、校庭には霜が降りていました。日に日に最低気温が下がっていることは皆さんも実感していると思いますが、同時に、空気が乾燥しています。一般的にウイルスは15℃以下の低い気温と40%以下の乾燥した湿度の環境下では、表面の水分を失い、空中に浮遊しやすくなります。さらに生存時間も長くなるため、インフルエンザ等のウイルス性感染症が冬場に広がりやすくなります。

その一方で人間の身体は、気温・湿度の変化に追いつかず免疫機能が低下し、感染しやすい状態になります。寒くなり、水分を摂る量が減ったりすると、のどの防御機能が低下し、ウイルスの侵入を許しやすくなります。また体温が1℃低下すると免疫力が30%低下するといわれています。改めて、服装や室温管理と換気、そして何より、免疫機能を高めるための健康の基盤となる「早寝・早起き・朝ごはん」をしっかり実行・徹底してください。

